

市長コラム

夢かなうまち
おびひろ

マディソン市との
姉妹都市15周年を迎えて

帯広市長 米沢 則寿



米国のマディソン市と帯広市が姉妹都市となつてから、10月25日で15周年を迎えます。

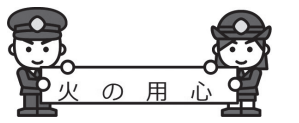
「マディソン」と聞くと、1990年代にベストセラーとなり、映画化もされた「マディソン郡の橋」を思い出される人も多いのではないのでしょうか。私も当時、原書を読みましたが、パリ出張からの帰りの飛行機の中で感動的なクライマックスを迎えてしまい、感情を抑えきれず、人目を気にしながら読了したことを覚えています。

あの小説の舞台が、帯広市の姉妹都市？しかし、実際にマディソン市を訪問する時になって、それが自分の思い込みであることに気がきました。マディソン市自体は、20万人超の人口を抱えるウィスコンシン州の州都であり、物語に描かれた牧歌的なイメージのアイオワ州マディソン郡とは別の地域にあります。

精神保健分野の先進地であるマディソン市とは、医療関係者による交流が契機となつて、姉妹都市となりました。両市とも農業が基盤であり、畜産分野の大学を有していたことも、交流の促進につながりました。

私も、姉妹都市締結5周年と10周年時の二度、市民の皆さんと一緒にマディソンを訪問する機会がありました。現地では、市民ボランティアの皆さんがまちを案内してくれたり、手作りの料理を持ち寄つた歓迎会を開催してくれるなど、公的な行事として交流事業を行う日本と比べ、交流の在り様が大きく違うことに驚かされました。帯広市をはじめ、日本の多くの自治体は、行政による施策として姉妹都市交流を実施しています。米国では、特定の分野における民間レベルの交流がベースとなり、姉妹都市の締結に至ることが多いことを知りました。

他都市との交流は、異なる文化や価値観に触れる機会にもなります。とりわけ、海外という日本から離れた場所との交流は、これまでの知識や経験による先入観や思い込み、固定概念が崩され、新たな視点や知識を得られる好機です。この15年の間には、交換留学が縁となり、帯広の高校を卒業後、マディソンの大学に編入するなど、人生の転機となつた方もいます。感染症の流行により、8月に予定していたマディソン市への訪問団派遣は見送りとなりましたが、改めて、相手の価値観や考え方を尊重した思いやりとおもてなしの心を持ち、この15年間の絆を財産として、これからの交流につなげていきたいと思います。



おうち時間
家族で点検 火の始末

10月15日～31日は秋の火災予防運動

問い合わせ 帯広消防署指導課 (西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131)

火災が発生しやすい時季を迎え、防火への意識向上のために「秋の火災予防運動」を実施します。「おうち時間」に家族と防火について、考えてみましょう。

住宅用火災警報器に関するミニポスターの掲示

藤森商會様のご協力のもと、カレッシュョップインデアン市内各店とふじもり店内に、住宅用火災警報器の設置や点検に関するミニポスターを掲示します。

火災予防広報活動

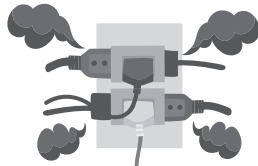
- 高齢者などの要配慮者世帯への防火チラシの投函
- 大型店舗での防火啓発
- 放火による火災防止のための車両巡回

住宅防火
いのちを守る

10のポイント

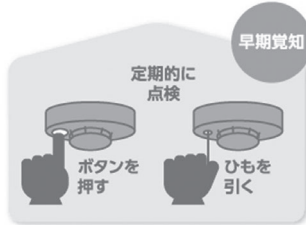
4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない。
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは、火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



6つの対策

- ストーブやこんろなどは、安全装置の付いた機器を使用する。
- 住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する。
- 消火器などを設置し、使い方を確認する。
- 避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 地域ぐるみの防火対策を行う。



事故防止のポイント

◆運転者の皆さんへ

- *いつも歩行者の動きに注意しながら運転しましょう。
- *信号機や横断歩道がない場所でも「歩行者が渡ってくるかもしれない」という意識を持ちましょう。
- *早めにライトを点灯し、自分の車の存在を周囲にアピールしましょう。

◆歩行者の皆さんへ

- *斜め横断はドライバーが気付きにくく、非常に危険です。必ず横断歩道を渡りましょう。
- *暗いところでは、自分の存在を周囲に気付かせることが重要です。明るい服装や夜光反射材を身に付けましょう。



リストバンド

反射シール



暗くなる時間帯の
交通事故防止

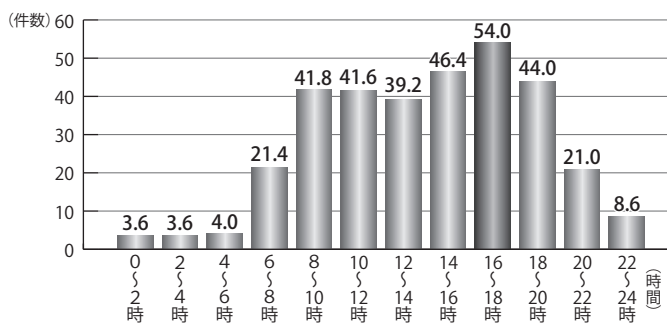
一人ひとりが心掛けること

問い合わせ 危機対策課 (市庁舎5階、☎65・4131)

16時～18時の薄暮時間帯に
要注意!

これからの時季は日の入りが早まることにより、夕暮れ時や夜間に交通事故が発生する可能性が高まります(表)。特に、薄暮時間帯※は周囲の視界が徐々に悪くなるため、自動車や自転車・歩行者の発見がお互いに遅れたり、距離や速度が分かりにくくなります。暗くなる時間帯の交通事故を防止するため、この時間帯に外出する時は、車の運転者も歩行者も左記のポイントを心掛けましょう。

表 平成28年～令和2年の時間帯別交通事故年間平均発生件数(帯広市)



資料元：十勝総合振興局

※薄暮時間帯 日没時刻の前後1時間をいいます。